

官民の給与差鮮明

総務省調査

総務省は3日、地方公務員の技能労働職員7職種の給与と、民間企業のほぼ同種の従業員とを比較した調査結果を発表した。平均給与月額で最も差が出た電話交換手では、地方公務員が民間より1.87倍高かった。同省は近く全自治体に向け、総点検を促す通知を送る。

安倍首相が3月、地方公務員の給与構造改革の推進と技能労働職員の給与についての調査、公表を総務相に指示し、同省が初めて実施した。

対象は、06年4月時点での都道府県と15政令指定市の消防職員、学校給食員、学校用務員、自動車運転手、守衛、電話交換手、バス運転手の計約5万6700人。

電話交換手は地方公務員の平均が39万8600円(平均年齢47.9)なのに対し、民間の平均は21万3200円(同41.4)と1.87倍の差があった。

格差は、次いで学校用務員1.70倍、守衛1.69倍、消防職員1.62倍の順。最も差が小さい学校給食員でも1.40倍あった。

平成19年7月4日(水)
朝日新聞 朝刊4面

地方公務員 現業7業種

民間と比べて 2倍の高年収

給与体系の不透明さが指摘されている消防職員など現業7業種の地方公務員の給与が、民間企業の同じ職種と比べて、高いことが3日、総務省の調査結果で分かった。

ポナスや踏手当を含めた年収が民間の2倍を超過する収入となっている例もあった。

地方公務員について

は、都道府県と政令指定都市の計7業種の約5万人について、平成18年4月の平均給与を調査。民間と比べて、厚生労働省の手配した「現金給付」を含めた年収が2倍を超過する例も多かった。

この結果、7業種とも地方公務員の方が民間の給与水準を大きく上回っていることが分かった。中でも、電話交換手・87倍、用務員・69倍、守衛・66倍、消防職員・65倍、学校給食員・52倍、バス運転手・52倍、ポナス・49倍と、民間の同職種との比較で、給与体系の見直しを求めている方針が述べられた。

職種	民間	地方公務員
消防職員	24,000	39,860
学校給食員	14,000	19,800
学校用務員	14,000	23,800
自動車運転手	14,000	26,800
守衛	14,000	23,600
電話交換手	21,320	39,860
バス運転手	14,000	26,800

民間より高給 電話交換手2.14倍、用務員1.92倍

職種	民間		地方公務員		給与比	年収比
	平均給与	平均年収	平均給与	平均年収		
消防職員	30	410	45	730	1.52	1.74
学校給食員	30	351	36	509	1.4	1.68
用務員	30	331	30	636	1.7	1.92
自動車運転手	41	387	41	470	1.44	1.73
守衛	43	363	43	603	1.69	1.91
電話交換手	30	305	30	652	1.87	2.14
バス運転手	40	440	40	733	1.40	1.83

民間と比べて給与水準が高いと批判されている消防職員や用務員など自治体の技能労働職員の7職種について、総務省が初の比較調査を実施し、3日調査結果を発表した。都道府県と政令指定都市の職員の平均月給は民間と比べ1.4〜1.8倍で、ポナスを含めた年収では守衛が1.91倍、電話交換手が2.14倍など約2倍の格差があった。

調査は47都道府県、15政令市の職員給与(昨年4月)と、同地域で類似する職種の民間従業員の直近3年間の平均給与を比較した。

※カッコ内は民間の年収。平均年収は給与や超過勤務手当を含む。単位は万円(千の位を四捨五入)。

技能労働職員 自治体調査

平均年齢は公務員が43〜48歳、民間が41〜58歳。その結果、平均月給で最も格差が大きかったのは電話交換手で1.87倍。次いで用務員1.70倍、守衛1.69倍、消防職員(民間は廃棄物処理従事員)1.52倍などの順だった。ポナスも含めた年収では、電話交換手が平均652万円3000円で民間平均の305万円の2.14倍、用務員も636万7000円で民間331万5000円の1.92倍だった。

技能労働職員は、全自治体で18万9600人。うち都道府県と政令市は6万6700人。総務省は給与が民間を大きく上回っている理由について「労働協約による特別な法体系で一般行政職との均等が確保されてきた」と分析。全自治体に対し、データを参考に給与情報と給与体系の見直しを含めた総点検を図るよう週内に通知する方針。

運転手3割年収100万超

神戸市バス
6/28(木) 神戸新聞

高い年齢層 平均収入、民間の1.8倍
手当かさむ

神戸市の市バス運転手のほぼ三割が、年収一千万円を超えていることが二十七日、分かった。採用の抑制などで年齢の高い職員の割合が増えているほか、長時間の時間外勤務などが要因という。民間のバス運転手と比べれば、平均年収が一・八倍となり、給与面での官民格差を再浮きかたした。

公務員の雇入れへの批判が強まる中、国の指示を受け、市が交通局などの高収入改善についてまとめた。

また、おむね上ると、バス運転手三百八十三人(平均四八・八歳)のうち、二〇〇六年度の年収が一千万円を超えたのは百十人(28%)に上った。最高は年一百万九千五百円だった。

交通局は高収入改善が多い理由として、バス路線の二部制(夜間帯)で年齢の若い運転手を中心に配

高収入改善が進み、年齢の高手が増えて、年齢の高手もいた。市バス運転手全体の平均年収は約八百九十万円になる。厚生労働省によると、兵庫県内の民間バス運転手の平均年収(四十四歳)は約五百万円、大きな開きがある。

総務省の政令指定都市間の比較(〇五年決算ベース)では、神戸市のバス運転手の平均給与は月約五十七万円、トップ。最低だった仙台市と比べ約十数万円高かった。期末勤務手当が十万余でも京都市(百八十八万円)に次ぐ百八十四万円だった。

同局は「特殊勤務手当の見直しを実施しており、今後も時間外勤務の縮減に取り組みたい」としている。

神戸市バス事業の累積赤字は約三百十億円に上り、路線の民間委託などを進めている。

▼神戸市バス運転手、故為コウノトリの手の時間外手当が一千万円超。その時間外勤務だとして3000の計算。同じがたい数字だが、こんな勤務を許した労働管理でも疑問。

▼大昔になつた女

あ。故為コウノトリのひなの年を思て、その腹を刺した。ひなの腹を刺して、卵が三つとなくなつてた。カラスにでもちられたのが。残念。(2)

6/28(木) 神戸新聞

6/28 神戸新聞